

ファミケア

通信



vol. **20**
2024.6.1 発行

皐月の昼下がり
大森公園に広がる白やピンクの絨毯の中にひとときわ
輝く2輪の可憐なお花を見つけました。
とても清々しい青空の下でドライブを楽しみました。

気になるコロナ関連の動向



社会福祉法人
ファミリーケアサービス
理事長 石山 清和

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが二類相当から五類に移行されて、一年が経過しました。

様々なイベントや行事が再開されて、三年余りにわたるコロナ禍によって停滞していた社会経済活動が以前の姿を取り戻しつつある喜ばしい今日であります。とりわけ観光地は人が溢れればかりになってきているように感じます。その確たるものが、大都市圏や有名観光地に殺到するインバウンド、いわゆる訪日外国人旅行者の方々に、そこには円安が拍車をかけているわけですが、誠に残念ながら地方には、そうした風がまだ吹いてきていないように思います。肝心の新型コロナウイルスは消

滅したわけではなく、減少傾向にあるものの依然として家庭や福祉施設などときおり発生しています。感染者数についても全数把握から定点医療機関からの報告による集計に変更になりましたが、全国や県内の状況が定期的に公表され、一定の注意喚起に繋がっているものと思っております。

その一方で、コロナ治療薬の公費負担や入院医療費の補助などが見直しされました。治療薬等の費用については、厚生労働省の試算によれば、コロナの疑いで外来の医療機関にかかった場合の治療薬のほか、検査料や医療費を合わせた費用は七十五歳以上の方で、医療費一割負担の方は四千九十円、二割負担の方は八千八百八十円、三

割負担の方では一万二千二百七十円ほどになるようです。

入院費用につきましては、住民税非課税ではなく、年収がおよそ三百七十万円までの七十五歳以上の高齢者が新型コロナで七日間入院した場合、コロナ治療薬の費用を除く自己負担額は所得に応じて三万九千八百円から四万七千六百円となるほか、食事代も別に必要になります。これまで続けられてきた「特例的」な公費負担などの支援策が終了したことで、私たちには新たな医療費負担が生ずることになりました。

新型コロナウイルスが、社会にもたらした影響は非常に大きいものがあります。働き方や非接触の生活習慣、デジタル化など社会の変化は多岐にわたり今日に至っています。とりわけ飲食の機会の減少は著しいものがあると感じています。飲食業を支えていた外食文化は何処へ行ってしまったのでしょうか。

人類と感染症との戦いは永遠です。法人が運営します福祉施設は、

その最前線といっても過言ではありません。常にご利用者様の体調の変化を注視し、感染症拡大防止の対策を職員一丸となって講じております。まだまだ新型コロナウイルスをはじめとする感染症の発生により、デイサービスなどの事業の受け入れ一時休止などの措置が頻発しております。ご利用者様、ご家族様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解のほどをお願い申し上げます。

終わりになりますが、昨年十一月に当法人理事長に就任し半年が過ぎました。地域福祉の課題に果敢と挑戦し、当法人の社会的使命を果たしていきたいと考えております。

どうぞ宜しくお願い致します。

特集

小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合のご紹介

おかげさまで開設12年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様のご支援とご愛顧の賜物と感謝申し上げます。

当事業所では、可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援を行っております。

この数年コロナ禍において地域との交流も制限されたなか、多方面にわたりご迷惑をおかけしましたが、今年度からは、今地域の皆さんと共に活動を本格的に再開するべく感染対策を行いながら夏祭りや敬老会など、地域と触れ合うような企画もしております。これまで様々な活動を行ってまいりましたが、これからも各シーズ

ンのイベントとして、正月やお雛まつりに端午の節句、夏祭りに敬老会、芋の子汁と、毎日レクレーションを利用者の皆様に楽しんでいただいております。活動内容については「つきの木だより」を発行し発信、ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

令和6年度も新たな気持ちでスタッフ一同、皆さまのおこしを心よりお待ちしております。



事業所

だより

『すこやか館合』

地域交流会

特別養護老人ホーム

すこやか館合

令和五年十月二十九日、館合地区交流センターつきの木館において、すこやか館合としては約四年ぶりとなる地域交流会を開催しました。

当日はあいにくの雨天となつてしまいましたが、大雄太鼓愛好会様の迫力のある演奏、お菓子や餅まきなど、大いに盛り上がりを見せました。地域の皆さまや利用者様等、たくさんのご参加をいただき、地域交流会は盛況のうちにも幕を閉じました。

コロナ禍という長いトンネルを抜け、ようやくこのような交流の機会を持つことができました。これもひとえに当施設を温かく支えてくださる地域の皆様、ご利用者様、ご家族様のおかげと感謝しております。これからも交流会をはじめ、日頃から地域の皆さまと



の繋がりを感じ、地域に根差した事業所として皆さまと共に歩んで参りたいと考えています。当日ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

『コロナ禍が明けて』

ケアハウス すこやか横手

ケアハウスすこやか横手は、自立型のケアハウスです。食事は施設で提供している他、外部の介護サービスを利用している方もいますが、基本的に入居者本人が家事等、身の周りの事を行い生活しています。

その中でケアハウスでは、入居者楽しく生活してもらう為に行事等を行っています。密になる為行っていない定例会や行事を再開し、入居者と一緒に花植えや食事会、月一回の買い物外出を



行っています。

梨木公園でブルーシートや座布団を持って行き、お茶やお菓子を食べながらお花見をしました。「きれいだねえ。こういうお花見は久しぶりだねえ。」と笑顔で話していました。また、入居者と一緒にぼんでんを作り、ジョヤサ、ジョヤサのかけ声をしながら施設内を練り歩きました。

コロナ禍では、感染症対策で食事も居室で食べたり、行事も行えず他者との交流が出来なかった中、改めて当たり前のことが幸せであると実感しました。これからも入居者に『ケアハウスにいて良かった。』と思っていただくよう、努力していきたいと思っています。



『龍の宝船』

特別養護老人ホーム すこやか大雄

当施設玄関の展示スペースに、今年の1月より新たな絵画が仲間入りしました。この絵画のタイトルは「龍の宝船」で、当法人理事の壽松木道作氏が描かれた墨絵の作品であり、今年の干支に因み、壽松木理事よりお借りして展示しております。この絵画には沢山の縁起の良いものが描かれていることが特徴的であるためその内容をご紹介します。

一つ目は「龍」です。龍は生命力や運を高めるエネルギーである「氣」の象徴として、健康や長寿、勝負運などを増強する力を持つとされ、この絵画の中心にはその龍を形取った宝船が勇ましく描かれており、正に運氣を高めるエネルギーを感じられる迫力があります。

二つ目は「大黒様」です。大黒様は開運と商売繁盛の神様で、絵画の中では宝船に大黒様がしっかり腰を降ろされ、開運や商売繁盛が安泰である旨が描かれております。

そして、三つ目が「鶴と亀」です。皆様もご存じの通り「鶴は千年、亀は万年」

と古来より鶴と亀は長寿の象徴とされており、この絵画においては宝船を囲むように一体的に絵描かれており、入居者の中には長寿祈願も込められたこの絵画に手を合わせて鑑賞される方もおります。その他、船の帆にある「寶(たから)」の文字や富士山も描かれおり、この上ないような縁起物と言うことで、当施設としてもこの絵画にあやかっって、「幸」あるより良い生活環境を整えていきたいと意気込んでいます。

皆様、すこやか大雄へお越しの際は、ぜひ「龍の宝船」をご覧ください！





桜が満開のすこやか森の家

すこやか森の家デイサービスセンターでの観桜会レクリエーションをいくつかご紹介いたします。

まずは【お天気ゲーム】です。大きなテルテル坊主を手を持って「明日天気になあ〜れ！」

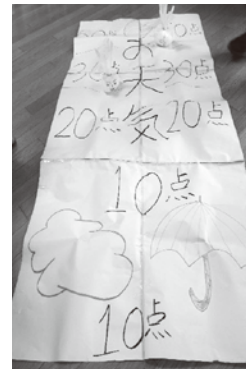


お花摘みゲーム

と、ご利用者の皆様と声を合わせて、大きな声で言いながらお天気シートの高得点を狙って飛ばします。声を出すことで口腔トレーニングや肺機能の維持向上を目的としています。また、集中力やご利用者同士の協調性を目的に行っています。

次に、【お花摘みゲーム】です。紐付きの輪を輪投げのように片手で持ち、お花をめがけて投げます。輪がお花に引つかかれば、紐を上手に引つ張ります。輪の中からお花がこぼれないように引つ張り上げるのが難しいようです。腕や手指の機能訓練や集中力向上維持に繋がります。

お花見をしながらすこやか森の家へお越しください。職員一同お待ちしております。



お天気ゲーム

『観桜会レクリエーション』

デイサービスセンター すこやか森の家

『手先使うレクリエーション』

横手市デイサービスセンター シルバードームいきいきの郷

デイサービスでは、身体機能や認知機能の維持や向上、心身のリフレッシュ、ほかのご利用者との交流を目的として様々なレクリエーション活動を行っています。

手先を使うレクリエーションでは、その月のテーマに合わせて壁面飾りや色塗り、創作カレンダー、ウエルカムボード等を作成しています。

朝、席に着くと同時に鉛筆やハサミを持ち作業を始めるご利用者の方がいます。一緒に作業を行う方と作業を分担し手順を考えながら進めていきます。「このパーツは何になるのか?」「この色よりこちらが良いな。」と担当職員と打ち合わせをしながら、チューリップ、藤や菖蒲と作成し白い壁が鮮やかに飾られると「綺麗だな。」と喜ばれています。

ほかのご利用者の方も「パズルやろうかな。」と20〜96ピースのパズルの中から好きな絵柄やピース数で選んで集中して取り組んでいらつしゃいます。パズルは楽しみながら頭の体操にもなります。入浴前や入浴後の少しの時間も惜しんで取り組まれている、そのようなデイサービスの光景です。

今月は何にしようか?担当職員はご利用者の笑顔を思い浮かべ企



藤の花が咲きました。



一緒にパズル

『お母さんの勉強会』

母子生活支援施設 横手市サンハイム

サンハイムでは、毎年お母さんたちの勉強会を設け、様々な企画をしてきました。アクセサリー制作、メイク講座、時にはランチでコース料理を楽しむなど：お母さんたちがリフレッシュできるような、楽しい時間を意識してきました。

一昨年と昨年は、お母さんたちの日々の子育てを労いながら、少しでも不安を解消できるように、施設職員によるペアレントトレーニングを行いました。特別な子育てではなく、誰もが経験する子育ての「難局」を乗り切るコツを「分かりやすいコミュニケーション」「効果的な誉め方」「自分をコントロールする方法」に分けて学びました。お母さんたちは、メモを取り、自分にあてはめながら真剣に聞いて



相手に伝える話し方を練習しました♪

ていました。二人一組になって、会話をしやすい環境や話し方とは何かを探りながら練習もしました。少しでも子育てのヒントになっていたら嬉しいです。最後は、おしゃべりをしながらおやつタイムも楽しみました。

サンハイムに入所しているお母さんたちは、地域で自立していくことを目指しながら、仕事、家事、子育てに日々奮闘しています。他の入居者の家族と共同生活をしているとはいえ、なかなかお母さんたち同士で情報交換をしたり、愚痴をこぼし合ったりする時間が作れないため、今後もお母さんたちの気持ちにホッとするような時間を作っていききたいです。



真剣に勉強中です！

『はばたけ つばさ』

児童養護施設 県南愛児園ドリームハウス

沢山の方のご協力をいただき、3月末より無事分園型グループケア「つばさ」が運用開始となり小学生～高校生の男子6名での生活がスタートいたしました。新築で個室も提供できるように設計されており快適で安心できる環境となつていきます。引越しや準備不足で慌ただしく、また一からのスタートで職員・子どもともに不安を抱えての開始でしたがやっと1か月程経ち落ち着いてきたところです。

施設生活とは異なり「つばさ」は地域により密着し家庭的な雰囲気を感じられる事から子ども達にも変化が見られ、何気ないやりとりですが友達や先生との会話の中で「今度俺の家に遊びに来ていいよ！」や「今家にいるよ。」と子どもたちの認識の中で自身の生活環境が施設から我が家へと変化している声が聞こえる度に小さな喜びを感じています。

名称「つばさ」の如く今後子どもたちが未来へ大きく羽ばたけるよう皆様にご協力をいただきます。がら支援していききたいと思います。



『全身で楽しむ小麦粉粘土あそび』

児童発達支援事業 モモの家

今回は、子どもたちが好きな「小麦粉粘土あそび」をご紹介します。みかんグループの小さいお友だちは職員が作って準備した小麦粉粘土を使いますが、りんごグループでは子どもたち自身が小麦粉から作り上げていきます。まずはト

たちの五感をたくさん刺激する小麦粉粘土。みんなの明るい笑顔がまぶしいモモの活動です。

レーに小麦粉を入れ、ここに色付けの食紅をちよつぱり。部屋中に小麦粉の匂いが広がります。あとは水を入れてしっかりとこねれば出来上がり。小麦粉は最初サラサラですが、水が入るとベトベト・グチャグチャと感触がガラリと変わります。そんな感触が大好きな子もいれば、つい手を引っ込めてしまう子も。それでも、小麦粉を足しながらどんどんこねていくと、しっとりモチモチの粘土に仕上がります。さっきまで触りたがらなかった子ども粘土になってしまえばへっちゃら。お家の方も、そば職人¹のようにこねるのが上手だったり、足で踏んで遊ぶ子もいたり、楽しみ方は様々です。粘土はちぎったり丸めたり、へびみたいに長く伸ばしたり。お家の方と食べ物や動物を作るのに夢中になる子もいます。お友だちと違う色の粘土を交換して、色の混ざり方を楽しむこともでき、色や形の変化で想像力もふくらみます。子ども



「さて、何を作ろうかな？」



「へびだぞ〜〜！」

『大人の社会科見学』

障がい者支援施設 ひまわり社

ひまわり社では、就労継続支援B型の事業として、ポリパック作業や老人ホームで使われるウエス・清拭タオルの製造、近隣町内へのゆうメール配達、資源回収（主に段ボールや古紙類）等を行っております。通所されるご利用者様は、それぞれの得意分野または個々の能力に応じて、各作業に日々取り組まれています。その中でも多くのご利用者が大半の時間携わっている作業がポリパック作業です。

日頃ご利用者の皆様が頑張っているポリパック作業ですが、

今回、これまで見た事のないポリパック製造工場・ダイコク化成株式会社様へ工場見学に行く機会を得る事が出来ました。社会科見学へいざ出発！初めての工場内では工場長様より説明を受け、皆とても真剣にそして興味深く見学させて頂きました。ポリパックの原料となる材料が米粒の様な小さな物であり、また、それが加工され機械から棒状になって止めどなく出てきては普段馴染みのあるサイズにカットされていく様子を、飽きることなく見続けているご利用者の姿も見られました。



普段手にしているポリパックが作られる様子、またはそこで働いている従業員の方の作業の様子を実際に目の前で見た事で、何かしらを感じ今後繋がるような時間が持てたのではないのでしょうか。また、社会科見学の後はお楽しみお弁当。新緑の芽吹く真人公園にて皆でお弁当を広げ、リフレッシュした時間を過ごすことが出来ました。有意義な時間を過ごせた一日でありましたが、これからもまた次の活力になる機会を企画していきます。

善意ありがとうございました
令和五年四月二日〜令和六年三月三十一日まで

法人本部

株式会社テラセキ様
(横手市駅前町)

渡敬文具館様
(横手市)

清川の里様
(横手市)

介護老人保健施設やすらぎの苑様
(横手市)

すこやか大雄

J A 秋田ふるさとけやきの会様
(横手市大雄)

特別養護老人ホームさくら様
(横手市)

横手市障がい者支援施設大和更生園様
(横手市)

大雄小学校様
(横手市大雄)

愛児園

いちい株式会社様
(横手市)

株式会社ベストアドバンス様
(横手市)

株式会社ドルチエ様 (東京都)
令和5年度作業資材等提供

安田原下町内会の皆様

横山町内会の皆様

有限会社秋田かまくらミート様
(横手市)

有限会社藤倉商店様 (横手市)

株式会社ヴァルモード様 (横手市)

株式会社かんきょう様 (横手市)

株式会社ツルタック様 (横手市)

古美術くとも様 (横手市)

末広タクシー様 (横手市)

太平洋材株式会社横手営業所様
(横手市)

日本キリスト教団秋南教会云様
(横手市)

麵屋羅漢様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

有限会社テラセキ様 (横手市)

新卒職員紹介

- ①アピールポイント ②リフレッシュ方法
- ③好きな言葉、好きな人物 ④将来の夢

伊藤 秀斗

(いきいきの郷)



- ①一度やると決めたとことは最後までやり切ります。②ゲーム、読書、昼寝、歌う事、踊る事。③成功したいなら挑戦しろ。それが唯一の道だ。④今まで支えてくれた家族に恩返しをする。

下田 美海

(すこやか森の家)



- ①食べることが大好きです。(特にラーメン)
- ②寝ること、いろんなお店を見ることが③好きな人物…THE RAMPAGEの吉野北人さん
- ④介護福祉士として働き続けること

菅原 零

(すこやか大雄)



- ①誰にも負けない優しさ②美味しいものを食べる③失敗は成功のもと④信頼される栄養士になりたい

加藤 優雅

(県南愛児園ドリームハウス かがと)



- ①食べることに、運動が好き。多趣味、料理が好き②寝ること、ドライブ、買い物、歌を歌うこと③好きな人：IN1の松田 迅くん
- ④今よりも料理の腕を上げること

小松明日実

(県南愛児園ドリームハウス)



- ①慎重さ②音楽を聴く、ショッピング③当たり前を当たり前と思わない④一人一人の気持ちに寄り添い、信頼される保育士。

小林 りな

(県南愛児園ドリームハウス)



- ①体を動かすことが大好きで、子どもたちと全力で遊ぶことができます！②映画鑑賞、運動、散歩③人生は一度きり④笑顔の似合うおばあちゃんになることです😊

杉山すずか

(県南愛児園ドリームハウス)



- ①明るい、協調性がある②食べる、寝る、音楽を聴く③成功の反対は、何もしないことである④場の雰囲気明るくできる人間になりたい

半田 愛佳

(県南愛児園ドリームハウス)



- ①運動、大食い、大得意です！②寝ることと食べる③一期一会④日々、成長していく。

鈴木 優莉

(県南愛児園ドリームハウス)



- ①常に笑顔です②ドラマを見たり、timelesz (旧Sexy zone) をみること、カラオケなどです③佐藤勝利、高橋文哉④子どもから信頼してもらえるような、明るい児童指導員になることです。

編集後記

「金も要らなげや女も要らぬ、あたしやも少し背が欲しい〜」。昔々そんなギャグが流行りましたね。最近田安やら何やらと物が高くなり何かと厳しい世の中となりました。立場上、貰いがどうのとは言えませんが、家計の収支バランスの変化についていけない今日この頃です。先日税収過去最高ってニュースが出ましたがね…。わたしは背より…いや、一所懸命精進し節約に励みます。